

(一社)九州観光推進機構 活動レポート

— 2020年3月号 —

主なトピックス

第4回九州観光振興大会の開催	1P
タイ市場における九州の村をテーマとした情報発信事業	2P
春の九州・沖縄大観光展の開催	2P
九州オルレ第9次コース オープン	3P

◆ 2月のトピックス

○第4回九州観光振興大会の開催

(2/7、長崎)

長崎市において、九州観光振興議員連盟と当機構の共催による「九州観光振興大会」を開催しました。この大会は、九州全体の広域的な観光振興の推進に寄与することを目的として実施しており、今回が4回目となります。当日は機構関係者を含む約290人が参加されました。

初めに、渡邊太志専務理事・事業本部長より当機構の取り組みを紹介しました。その後、有限責任あずさ監査法人東京事務所の丸田健太郎氏による九州・長崎IRの波及効果にかかる説明や、株式会社ジャパネットたかたの創業者の高田明氏による「夢持ち続け日々精進」と題した講演が行われました。

最後に、九州が一体となって観光振興を推進する大会宣言を採択し、大盛況で大会を終えました。



○アドベンチャーツーリズムを活用した欧米豪からの来訪者促進戦略策定事業 第3回検討会

(2/17、福岡)

九州各県および有識者によるアドベンチャーツーリズム（以下、AT）を活用した欧米豪からの来訪者促進戦略事業の第3回検討会を開催しました。本年度の調査結果等を踏まえ、SDGsに親和性のあるATの考え方の浸透、コンテンツの発掘やガイド育成など九州で推進していく上での課題や必要な取り組みを確認し、次年度以降の事業（案）等について意見交換を行いました。当機構では次年度も引き続き、アドベンチャーツーリズムの推進に取り組んでまいります。

○タイ市場における九州の村をテーマとした情報発信事業

(2/15、タイ・バンコク)

8月に招請した、タイで有名な俳優でありインフルエンサーの佐野ヒロさんをスピーカーとしてお招きし、九州の観光セミナーをバンコクの中心部に位置する会場で開催しました。

新型コロナウイルスの影響から集客への影響が懸念されましたが、結果的には350名程度のほぼ満席で開催でき、出展者をはじめ関係者からも高く評価いただきました。当日は新型コロナウイルスへの対応に万全を期すため、来場者のアルコール消毒と体温検査の実施を徹底し、多少受付に時間を要しましたが、来場者の安心感の確保とリスクの最小化に努めました。

佐野さんのプレゼンでは、今回のテーマである九州の村(菊池、鹿屋、高千穂)を紹介していただき、特に日本人の水や環境を大切にしている心や、村の豊かさに来場者が反応していました。素材としては「食」と「かんぱちの養殖」への反応が強かったです。

セミナー参加者は日本の他地区のセミナーと比べると年齢層が高い印象があり、40代がメインであるように見受けられました。



宮崎県: かつぼ鶏づくり体験



鹿児島県: かんぱち捌き体験

○春の九州・沖縄大観光展の開催

(2/21-23 *23日は展示のみ、広島市)

中国地区からの誘客拡大を目的に、公益社団法人日本観光振興協会および九州7県の観光連盟(協会)との共催で「春の九州・沖縄大観光展」を開催しました。イベントに先立ちテレビ新広島とタイアップしやテレビCM(2/3~22)や地元の人気情報番組「ひろしま満点ママ!!」で観光情報の発信(2/17~20)や生出演PR(2/21)を行いました。

イベント初日の22日には大勢のお客さまがご来場されました。世界遺産やテーマパーク、温泉、離島など、九州・沖縄の観光情報について質問される方も多数見られました。

引き続き関係機関と連携し中国地区からの誘客拡大に努めてまいります。



○九州オルレ第9次コース オープン

(2/22-23、宮崎県木城町・高鍋町、長崎県島原市)

九州オルレ第9次コースとして、宮崎・小丸川コースが2月22日、島原コースが2月23日にそれぞれオープンしました。

宮崎・小丸川コースのオープンには約200人の方々が国内外から歩きに來られました。地域に根付く百濟王族伝説に由来する大年下りが毎年執り行われるなど、朝鮮半島とのゆかりが深く、持田古墳群や高鍋大師などの見所もあります。

島原コースのオープニングセレモニーは、新型コロナウイルスの感染予防のため中止となりましたが、雲仙・普賢岳の噴火による災害遺構や、1792年の噴火活動によって形成された島々や地形など、これまでの人と活火山との共生を体感できるコースとなっています。

両コースとも、今後、国内外から観光客の來訪が期待されます。



宮崎県：小丸川コース



長崎県：島原コース

○会員旅行会社修学旅行担当者招へい事業

(2/26-28、長崎、佐賀、大分、福岡他)

九州への修学旅行誘致を強化していくため、関西・中国地区の会員旅行会社の営業担当者(21名)を九州に招へいし、北部九州の新たな修学旅行プログラムを中心に視察・体験して頂きました。

長崎県田島無人島での「生きる力」を育む体験、佐賀県の鹿島干潟を通して考える環境学習プログラム、そしてSDGsを切り口にした大分県別府市での留学生との交流プログラムなど、最新の九州の修学旅行の特色を体感して頂きました。

参加者からは「民泊や平和学習だけでなく、環境問題を含むSDGs関連の素材・グローバル化に対応した素材があり、楽しく学ぶことができる」など今後に向けたコメントを頂きました。

今後も「九州での深い学び」を提案し、九州への修学旅行実施につながるよう、九州一体となった誘致活動を引き続き行ってまいります。



長崎県：田島無人島体験



佐賀県：鹿島干潟環境学習



大分県：

Global Exploration Program in
Beppu

○フランスでの九州観光セミナー開催

(2/27、フランス・パリ)

日本人シェフ（手島竜司氏、熊本県出身）がオーナーを務めるレストラン・Restaurant Pages（フランス料理・ミシュラン一つ星）で、九州観光セミナーを開催し、旅行会社11社、メディア7社が参加しました。メディアに対するプレゼンはテーマを「出汁」として、参加者に鰹出汁や鰹節をトッピングしたおつまみやサラダを味わっていただきました。手島シェフからも、日本料理をぜひ日本で味わってほしいというコメントを頂き、盛り上げていただきました。11月に続き、今回のセミナーコンテンツは参加者からはとても好評でした。開催後もメディアから多くのお問い合わせをいただき、今後のメディア露出が期待されます。旅行会社に対しては九州内のモデルコース（福岡から熊本、鹿児島、宮崎）をベースに説明を実施し、今後のツアー造成に意欲を示していました。



◆九州観光推進機構からのお知らせ

○九州観光推進機構サイトの会員向け情報ページに「観光統計情報」の掲載 (3/17)

「九州観光関連の最新統計データ」を会員向け情報ページにアップします。九州への入国外国人数（2019年12月確定値/2020年1月速報値）、九州における延べ宿泊者数（2019年12月第2次速報値）などを掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

なお、会員向け情報ページを閲覧するには、IDとパスワードが必要になります。ご不明な点は下記お問い合わせ先までお願いします。

○人事往来

当機構スタッフの人事異動がありましたので、お知らせします。

【転入者】

企画部 伊達 晴菜 [株式会社日本旅行]

○3月以降の主な事業

3月に実施を予定していました以下の事業について、新型コロナウイルス感染防止の観点から開催を中止いたします。

- ・第3回九州観光セミナー

◇◇ お問い合わせ先 ◇◇

一般社団法人 九州観光推進機構 九州観光広報センター 野間

TEL:092-751-2943 (代表)

092-751-2946 (国内誘致推進部^タ イヤルイン)

092-751-2947 (海外誘致推進部^タ イヤルイン)

092-751-2951 (九州観光広報センター^タ イヤルイン)

FAX:092-751-2944

E-mail : infokkyushu@welcomekyushu.jp